

広島空港 **i** スクエア通信

第33号（令和2年2月4日）
（発行：広島県空港振興課）



広島空旅！2020

（目次）

■ トピック	2
・ 空港経営改革後の広島県及び広島県空港振興協議会の役割について	2
・ 東広島バイパス・安芸バイパスの開通見通し	3
・ 年末年始の交通アクセス	3
・ 新動物愛護センターの整備	4
・ 広島空旅！2020	4
■ イベント情報	5
・ かき祭り	5
■ 広島観光情報	6
・ 鞆の浦	6
・ 福山方面のアクセスのご案内	7
■ コラム	8
・ 空港での給油について	8
■ 広島空港の利用状況（令和元年11月・12月）	9
・ 航空旅客	9
・ リムジンバス等	11
・ 駐車場	13

■ トピック

空港経営改革後の広島県及び広島県空港振興協議会の役割について

広島空港の振興については、これまで広島県もその一翼を担ってきました。具体的には、路線誘致をはじめとする航空会社の支援や、空港アクセスの整備など、空港の利便性向上を図るための様々な施策を実施してきたところです。しかし、令和3年4月からの空港経営改革を契機に、広島県の空港振興のあり方も、これまでとは異なるものになると考えています。

空港経営改革の大きなメリットは、空港各施設が同一管理者のもとで一体運営されることで、空港全体としての最適化が図られることです。例えば、空港施設使用料を原資に航空会社向けのインセンティブとし、路線誘致を強化することなどが考えられます。従来は、空港各施設の管理者が異なっていたために、このような考え方をすることは困難でした。また、広島県にとっては、空港振興の施策を実施しても、着陸料や空港施設使用料などの増加分は、直接的には県歳入増に繋がらないというジレンマもありました。

しかし、空港経営改革後は、運営権者による効率的な運営が行われ、民間の洗練されたノウハウを活用した路線誘致など、これまでとは全く異なる空港運営が実現されると期待しています。広島県としては、空港経営改革の効果を最大化させるため、運営権者による積極的な広島空港の活性化に資する取組を期待しています。

一方で、民間による空港運営が開始されるとはいえ、空港振興における広島県の役割が全て終了することはないとも考えています。例えば、地元対策や、アクセス整備、地域の需要創出などについては、引き続き取り組んでいく必要があります。

また、広島県が事務局となって運営し、主に利用促進の役割を担っている広島県空港振興協議会（以下「協議会」）においても、同様のことがいえます。これまで、協議会は、利用促進を中心に広島空港の活性化を図ってきました。今後、運営権者に新たに参画してもらうことで、利用促進の方法も、協議会のあり方も変化していくと考えています。

空港経営改革後に広島県や協議会が担う役割に関して、ポイントの1つとなるのは資金面です。広島県では、県営駐車場敷地を運営権者に賃貸借することにより、駐車場の使用料収入がなくなります。協議会では、空港国営駐車場が運営権者の管理となることで、（一財）空港振興・環境整備支援機構の支援制度が利用できなくなります。広島県や協議会にとっては、従来よりも財源が減るため、従来と同程度の事業実施は困難となります。必然的に事業の縮小を視野に入れると同時に、別途外部からの財源確保なども検討しなければなりません。

空港経営改革後は、運営権者と、広島県や協議会の役割分担や、運営権者との連携の形について、お互いの考え方を率直にぶつけ合いながら、最もふさわしい各組織のあり方を探っていけたらと考えています。広島県や協議会が、運営権者と互いの方針を尊重し、ウィンウィンの関係を築けることを望んでいます。

東広島バイパス・安芸バイパスの開通見通し

国土交通省中国地方整備局は、東広島バイパス・安芸バイパスについて、令和4年度の開通見通しを発表しました。東広島バイパス・安芸バイパスの開通により、国道2号線の利便性が向上するだけでなく、山陽自動車道の利用者がシフトすることで、混雑緩和の効果が見込まれます。山陽自動車道の渋滞は、広島空港の開港当初からの課題であり、利便性に大きく関わる事柄です。

現在、広島空港アクセスのトリプルウェイ化を推進していますが、東広島バイパス・安芸バイパスの開通は、非常に大きな前進となります。引き続きアクセスの多重化による交通量の分散やリスク軽減を進めていきます。

国土交通省 中国地方整備局

<http://www.cgr.mlit.go.jp/kisha/201912/191225-2top.pdf>

年末年始の交通アクセス

年末年始期間中（12/28～1/5）に、山陽自動車道で発生した事故等による渋滞の影響で、次のとおり空港連絡バスへの影響がありました。

《運休発生状況》

全路線とも運休はありません。

《遅延状況》

路線名	方面	月日	最大遅延時間	遅延時間帯
広島 リムジン	空港行 (広島バスセンター発)	1月2日(木)	30分	16:00～18:10
		1月4日(土)	35分	13:10～16:00
	空港発(広島駅行) 空港発(広島バスセンター行)	12月29日(日)	30分	17:30～19:00

※その他の路線（呉、福山、三原、竹原、三次、西条、尾道）の大幅な運行遅延はありません。

《白市空港連絡バスの臨時便の運行状況》

月日	空港行	白市駅行	小計
1月2日(木)	2便 51名	— —	2便 51名

新動物愛護センターの整備

「人と動物との調和のとれた共生社会」を実現するための拠点として、広島空港付近に新しい動物愛護センター（新センター）が令和4年度中に開業される予定です。その整備方法には、土地の造成から建築工事、施設運営に至るまで、民間の資金やノウハウを活用し、効率的な公共サービスの提供を図る PPP/PFI 手法を導入します。

新センターは、従来の動物愛護センターよりも、動物の譲渡促進機能を強化するとともに、動物愛護教育の効果を高めることを目指します。そのため、新たに民間運営による譲渡施設（動物の展示施設）の整備を検討します。また、人が集まる魅力的な施設とするため、ペット用品売場やドックラン、カフェなどの付帯施設の整備も検討しています。

自然を活用した魅力的な造成を行い、家族連れのリフレッシュの場所や遠足先として選んでもらえる施設となることを目指します。

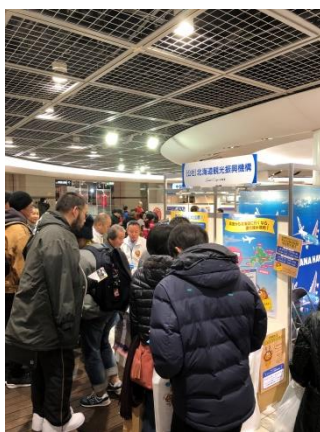


地理院地図を基に作成

広島空旅！2020 実績

令和2年1月18日(土)・19日(日)に、広島県内最大級となる旅の情報発信イベント「広島空旅！2020」を開催しました。

- イベント会場来場者数 約 12,500 人(18日 約 7,000 人, 19日 約 5,500 人)
- クイズラリー抽選参加者数 2,496 人(18日 1,291 人, 19日 1,205 人)



■ イベント情報

かき祭り



写真提供: 広島県

広島のかきは全国のシェアの約6割を占め、生産量日本一を誇ります。旬であるこの時期には、県内各地で美味しいかきを味わえるかき祭りが開催されます。



- ① 宮島かき祭り
- ② 大野かきフェスティバル
- ③ 2020 ひろしまフードスタジアム冬の陣 広島大牡蠣祭り
- ④ 第8回 福山かきまつり
- ⑤ 第19回 おおたけカキ水産まつり
- ⑥ 2020 呉水産祭り
- ⑦ 坂町漁協水産まつりチャリティーバザール
- ⑧ 江田島市カキ祭
- ⑨ 早瀬かき祭り
- ⑩ 第30回 広島市水産まつり in マリーナホップ

<https://www.hiroshima-kankou.com/gourmet/kaki/top>

■ 広島観光情報

鞆の浦



写真提供: 広島県

広島県福山市の鞆の浦は、古くから「潮待ちの港」として栄え、江戸時代からの港湾施設や情緒ある町並みが残っています。

宮崎駿監督が「崖の上のポニョ」の構想を練った場所としても有名ですが、古くから多くの歴史上の人物にも愛された、弁天島や仙水島などの瀬戸内の島々が織りなす風光明媚な景勝地として知られています。



対潮楼から見た弁天島



鞆の町並み

<https://www.hiroshima-kankou.com/spot/5770>

福山方面へのアクセスのご案内

鞆の浦などの所在する福山方面へは、広島空港から直行アクセスが運行しています。

福山リムジンバス

運行会社：中国バス、鞆鉄道

片道運賃：1,400円（福山駅前～広島空港）

往復運賃：2,500円（福山駅前～広島空港）

【停車場】

広島空港・中央森林公園・高坂BS・福山本郷・千田BS・広尾・福山駅前

	乗車のみ	降車のみ
福山駅前行	広島空港, 中央森林公園	高坂BS, 福山本郷, 千田BS, 広尾, 福山駅前
広島空港行	福山駅前・広尾・千田BS・福山本郷・高坂BS	中央森林公園, 広島空港

※高坂BSでは、尾道・因島方面（フラワーライナー）、みつぎ・府中市方面（リードライナー）、世羅・甲山方面（ピースライナー）と乗り換えが可能です。



写真提供: 広島県



地理院地図を基に作成



写真提供: 広島県



写真提供: 広島県

■ コラム

空港での航空機への給油について

空港運営には、航空会社やグランドハンドリング会社、バス会社、テナント各社など様々な事業者の参画が必要ですが、その一つに航空機へのジェット燃料の給油を行う給油会社があります。言うまでもなく、航空機はジェット燃料がなければ飛べません。今回は、給油会社の視点から空港運営を取り上げていきます。

航空機の運航に必要なジェット燃料は、石油元売り会社の製油所から、タンクローリーで空港内の貯油タンクに運ばれ、一時保管されます。広島空港における航空機への給油の場合は、給油会社の給油員がレフューラーと呼ばれる給油車両に積み替え、航空機の機側において、翼下の給油口にホースで繋いで給油します。ジェット燃料は危険物であるため、給油員には危険物取扱者の資格が必要ですが、事故を起こさないために給油に係る安全手順の遵守が求められ、その一方で、航空機の定時運航を支えるため、迅速に作業することも大切な要素となっています。このため、一人前の給油員になるためには、長期に渡る教育と訓練が必要となり、給油会社に入社してもすぐに戦力になるという訳ではありません。

昨今では、全国的にFSCだけでなく、LGCの新規就航や増便が相次ぎ、またインバウンド旅客の増加が顕著となっており、当然、給油便数も急増しています。しかし、学生の間で給油業界の認知度が低いことや、育成に時間がかかることもあり、給油員の確保が給油便の増加に追い付いていないのが現状です。

もちろん、給油会社としては、採用にも注力しており、専門学校や大学などでの企業説明会や合同企業説明会（ジョブフェア）に参加するなど、学生に給油業務に関心をもっていただくための活動を幅広く展開しています。同時に、給油業務について多くの方に知っていただき、理解を深めていくことを考えています。

さらに、給油車両であるレフューラーは、特殊な車両であることから、メーカーが限られており、発注から納車までに相当な時間を要します。したがって、給油会社にとって給油車両の確保も給油便の増加に対応するための重要な要素となっています。また、広島空港では貯油タンクと駐機スポットが離れており、車で片道10分程度を要し、航空機への給油と貯油タンクへの往復を合わせて1時間程度を必要とします。そのため、1台では連続した給油が行えず、航空便が輻輳する時間帯においては、給油員だけでなく車両も多く準備する必要があり、給油会社には負担となっています。

また、航空機の遅延などが発生した場合、給油員の残業が発生してしまいますが、近年では、政府の「働き方改革」の推進により労務管理も難しくなっています。給油便が増えても、限られた給油員と給油車両で対応せざるを得ず、給油員の長時間労働が問題となりつつあります。そのため、航空機の発着時間の共有や、航空便の受入に際しての時間調整など、日々の連携の重要性が増していると考えられます。

こうした課題を抱えながら、給油会社は空港で航空機の安全な運航、定時運航を支えるため日々給油業務を行っています。航空便の新規就航や増便に際して、グランドハンドリングの受入体制などと同様、給油体制を整えることは必須であり、空港運営会社や航空会社にとって、これまで以上に事前の情報共有や相談など給油会社との連携が欠かせません。特に、航空便が輻輳する時間帯においては、給油体制整備のハードルもより高くなることから、空港運営会社や航空会社との連携体制を構築し、事前の情報共有や相談を密に行うことが望まれます。

■ 広島空港の利用状況(令和元年 11 月, 12 月)

航空旅客

	路線	区分	単月(R1.11)		年度累計(H31.4~R1.11)		備考	
			利用状況(人)	前年比(%)	利用状況(人)	前年比(%)		
国内線	東京	搭乗者数	197,355	102.0	1,470,641	105.7	H29.10.29~1便増便 H30.10.28~1便減便 H31.2.1~ 1便増便	
		搭乗率	74.9%		74.6%			
	成田	搭乗者数	21,889	106.9	170,168	132.3	H30.1.16~ 1便減便 H30.8.1~ 1便増便	
		搭乗率	81.4%		81.0%			
	札幌	搭乗者数	14,726	123.8	126,562	122.7		
		搭乗率	74.1%		78.8%			
	仙台	搭乗者数	7,469	100.5	55,822	100.6		
		搭乗率	88.9%		83.7%			
	沖縄	搭乗者数	11,350	101.8	97,797	106.4		
		搭乗率	70.1%		75.3%			
	その他国内	搭乗者数	200	43.9	3,249	71.6		
		搭乗率	59.5%		67.8%			
国内線合計	搭乗者数	252,989	103.3	1,924,239	108.4			
	搭乗率	75.5%		75.6%				
国際線	ソウル	搭乗者数	4,192	109.8	34,205	79.1	H30.8.27~2便減便	
		搭乗率	83.1%		84.9%			
	中国路線	大連・北京	搭乗者数	2,728	92.1	27,523	89.9	平成28年冬スケジュールから冬期は週4便、夏期は週5便で運航されている。
			搭乗率	48.8%		52.2%		
		上海	搭乗者数	5,913	106.2	46,558	100.2	H30.3.25~成都への延伸を休止
			搭乗率	81.3%		78.5%		
	(小計)	搭乗者数	8,641	101.3	74,081	96.1		
		搭乗率	67.2%		66.1%			
	台北	搭乗者数	9,166	102.0	63,087	98.0		
		搭乗率	91.0%		80.0%			
	香港	搭乗者数	3,677	90.6	31,456	96.8		
		搭乗率	84.8%		84.4%			
シンガポール	搭乗者数	3,242	96.0	23,909	105.0	H29.10.30 就航 週3便		
	搭乗率	83.4%		71.0%				
その他海外	便数(片便)	0	-	51	477.9			
	搭乗者数	0		6,557				
	搭乗率	0%		78.5%				
国際線合計	搭乗者数	28,918	98.4	233,295	96.7			
	搭乗率	79.9%		75.1%				
旅客合計	搭乗者数	281,907	102.8	2,157,534	107.0			
	搭乗率	75.9%		75.6%				

	路線	区分	単月(R1.12)		年度累計(H31.4~R1.12)		備考	
			利用状況(人)	前年比(%)	利用状況(人)	前年比(%)		
国内線	東京	搭乗者数	177,752	104.2	1,648,393	105.5	H29.10.29~1便増便 H30.10.28~1便減便 H31.2.1~1便増便	
		搭乗率	69.3%		74.0%			
	成田	搭乗者数	21,830	114.4	191,998	130.0	H30.1.16~1便減便 H30.8.1~1便増便	
		搭乗率	80.8%		81.0%			
	札幌	搭乗者数	11,866	100.2	138,428	120.4		
		搭乗率	57.8%		76.4%			
	仙台	搭乗者数	6,164	104.8	61,986	101.0		
搭乗率		73.4%	82.5%					
沖縄	搭乗者数	10,295	90.1	108,092	104.6			
	搭乗率	62.1%		73.8%				
その他国内	搭乗者数	442	120.8	3,691	75.2			
	搭乗率	65.8%		67.6%				
国内線合計	搭乗者数	228,349	104.2	2,152,588	108.0			
	搭乗率	69.2%		74.9%				
国際線	ソウル	搭乗者数	2,358	65.9	36,563	78.1	H30.8.27~2便減便 R1.12.17~期間運休	
		搭乗率	75.9%		84.2%			
	中国路線	大連・北京	搭乗者数	2,695	92.5	30,218	90.1	平成28年冬スケジュールから冬期は週4便、夏期は週5便で運航されている。
			搭乗率	45.4%		51.5%		
		上海	搭乗者数	5,296	94.3	51,854	99.5	
			搭乗率	72.3%		77.9%		
	(小計)	搭乗者数	7,991	93.7	82,072	95.8	H30.3.25~成都への延伸を休止	
		搭乗率	60.3%		65.5%			
	台北	搭乗者数	8,587	93.7	71,674	97.5		
		搭乗率	82.4%		80.2%			
	香港	搭乗者数	4,335	112.9	35,791	98.5		
		搭乗率	86.0%		84.6%			
	シンガポール	搭乗者数	3,784	112.8	27,693	106.0	H29.10.30就航 週3便	
搭乗率		83.4%	72.4%					
バンコク	搭乗者数	990	-	990	-	R1.12.18就航 週3便		
	搭乗率	44.4%		44.4%				
その他海外	便数(片便)	9	127.8	60	298.3			
	搭乗者数	1,847		8,404				
	搭乗率	87.8%		80.4%				
国際線合計	搭乗者数	29,892	99.9	263,187	97.0			
	搭乗率	73.4%		74.9%				
旅客合計	搭乗者数	258,241	103.7	2,415,775	106.6			
	搭乗率	69.7%		74.9%				

リムジンバス等

路線	区分	単月 R1.11		年度累計 H31.4~R1.11		備考
		利用状況(人)	前年比(%)	利用状況(人)	前年比(%)	
広島	乗客数	104,003	97.5	788,550	106.3	
	(うち平和大通り)	1,181	97.1	8,581	102.9	
	1便平均	20.1	—	18.9	—	
	(うち平和大通り)	4.9		4.4		
福山	乗客数	7,007	99.9	53,950	99.0	
	1便平均	9.7		9.3		
三原	乗客数	4,757	106.9	33,878	95.2	
	1便平均	7.2		6.6		
呉	乗客数	6,818	94.5	50,965	101.0	
	1便平均	12.6		11.7		
白市駅	乗客数	8,054	112.2	63,712	145.3	
	1便平均	5.4		5.2		
竹原港	乗客数	1,103	130.1	9,028	120.2	
	1便平均	2.4		2.5		
尾道	乗客数	607	94.3	2,015	42.9	R1.8~ 運行再開
	1便平均	2.5		2.1		
三次	乗客数	382	99.2	3,313	111.3	H28.7~
	1便平均	2.1		2.3		
西条	乗客数	4,746	100.7	37,380	100.1	H29.10~
	1便平均	7.9		7.7		
合計	乗客数	137,477	98.8	1,042,791	109.6	

路線	区分	単月 R1.12		年度累計 H31.4~R1.12		備考
		利用状況(人)	前年比(%)	利用状況(人)	前年比(%)	
広島	乗客数	96,552	103.9	885,102	100.5	
	(うち平和大通り)	958	90.7	9,539	83.0	
	1便平均	18.0	—	18.8	—	
	(うち平和大通り)	3.9		4.4		
福山	乗客数	6,631	102.5	60,581	99.3	
	1便平均	8.9		9.2		
三原	乗客数	3,753	107.2	37,631	83.5	
	1便平均	5.5		6.4		
呉	乗客数	6,638	98.7	57,603	91.0	
	1便平均	11.9		11.7		
白市駅	乗客数	7,443	113.1	71,155	115.5	
	1便平均	4.8		5.1		
竹原港	乗客数	1,001	119.2	10,029	120.1	
	1便平均	2.1		2.4		
尾道	乗客数	408	71.5	2,423	46.0	R1.8~ 運行再開
	1便平均	1.6		2.0		
三次	乗客数	411	106.8	3,724	75.1	H28.7~
	1便平均	2.2		2.3		
西条	乗客数	4,976	105.9	42,356	89.4	H29.10~
	1便平均	8.0		7.7		
合計	乗客数	127,813	104.2	1,170,604	109.0	

駐車場

駐車場名	区分	単月 (R1. 11)		年度累計 (H31. 4~R1. 11)	
		利用状況(台)	前年度比(%)	利用状況(台)	前年度比(%)
空港駐車場 1,149台	入庫台数	24,097	99.8	204,455	102.5
	1日平均	803		838	
	泊車台数	20,832	104.7	161,285	104.9
	1日平均	679		661	
	満車日数	8	1	53	20
県営第1駐車場 593台	入庫台数	9,790	103.5	66,988	111.2
	1日平均	326		275	
	泊車台数	7,158	111.8	52,047	113.5
	1日平均	239		213	
	満車日数	2	2	11	11
県営第2駐車場 645台	入庫台数	20,699	110.4	122,691	112.5
	1日平均	690		503	
	泊車台数	5,518	120.1	48,839	138.3
	1日平均	184		200	
	満車日数	1	1	9	9
県営駐車場 計 1,238台	入庫台数	30,489	108.1	189,679	112.1
	1日平均	1,016		777	
	泊車台数	12,676	115.3	100,886	124.3
	1日平均	423		413	
	満車日数	3	3	20	20
正広駐車場 1,426台	入庫台数	5,191	97.6	39,309	103.0
	1日平均	173		161	
	泊車台数	17,153	105.4	138,681	111.1
	1日平均	572		568	
	満車日数	0	0	0	0
合計 3,814台	入庫台数	59,777	103.7	433,443	106.5
	1日平均	1,993		1,776	
	泊車台数	50,661	107.4	400,852	111.4
	1日平均	1,674		1,643	

注：満車日は、概ね1時間以上満車となった日を集計しており、単位は「日」。

注：正広駐車場の収容台数は、平成16年12月20日まで1172台、平成18年9月21日までは1312台。

駐車場名	区分	単月 (R1. 12)		年度累計 (H31. 4~R1. 12)	
		利用状況(台)	前年度比(%)	利用状況(台)	前年度比(%)
空港駐車場 1,149台	入庫台数	25,533	102.5	229,988	102.5
	1日平均	824		836	
	泊車台数	18,372	104.0	179,657	104.8
	1日平均	593		653	
	満車日数	3		1	
県営第1駐車場 593台	入庫台数	7,806	106.6	74,794	110.7
	1日平均	252		272	
	泊車台数	5,865	118.3	57,912	114.0
	1日平均	189		211	
	満車日数	2		2	
県営第2駐車場 645台	入庫台数	14,867	117.6	137,558	113.0
	1日平均	480		500	
	泊車台数	5,940	117.6	54,779	135.7
	1日平均	192		199	
	満車日数	1		1	
県営駐車場 計 1,238台	入庫台数	22,673	113.6	212,352	112.2
	1日平均	732		772	
	泊車台数	11,805	117.9	112,691	123.6
	1日平均	381		410	
	満車日数	3		3	
正広駐車場 1,426台	入庫台数	4,744	99.4	44,053	102.6
	1日平均	153		160	
	泊車台数	17,458	114.1	156,139	111.4
	1日平均	563		568	
	満車日数	0		0	
合計 3,814台	入庫台数	52,950	106.7	486,393	106.5
	1日平均	1,708		1,769	
	泊車台数	47,635	110.8	448,487	111.3
	1日平均	1,537		1,631	

注：満車日は、概ね1時間以上満車となった日を集計しており、単位は「日」。

注：正広駐車場の収容台数は、平成16年12月20日まで1172台、平成18年9月21日までは1312台。

第34号の配信は2月下旬頃を予定しています。